

# CCOP 第 59 回年次総会・第 81 回管理理事会 参加報告

内田 洋平<sup>1)</sup>

## 1. 第 59 回年次総会

CCOP (Coordinating Committee for Geoscience Programmes in East and Southeast Asia, 東・東南アジア地球科学計画調整委員会) は、東・東南アジア地域の経済発展と生活レベル向上を目指し、地球科学分野の研究プロジェクトやワークショップの推進・調整を行う政府間機関です。現在、16 の加盟国、14 の協力国および 17 の協力機関で構成されています。年次総会は加盟国の持ち回りで開催されており、第 59 回 (2023 年) 年次総会は、2023 年 10 月 29 日～11 月 2 日に CCOP (タイ王国) 主催による完全対面会議で、タイ・カオラックで開催されました。

年次総会における主な行事は以下の通りでした。

- 10 月 29 日 (日) 10 時～12 時：財政委員会
- 10 月 30 日 (月) 11 時～17 時：年次総会本会議
- 10 月 31 日 (火) 9 時～17 時：同本会議
- 11 月 1 日 (水) 9 時～17 時：Thematic Session
- 11 月 2 日 (木) 8 時～17 時：地質巡検 (バンガー湾、およびその周辺)

### 1.1 第 24 回財政委員会

出席者は委員会メンバー (ブルネイ、インドネシア、日本、マレーシア、フィリピン) と、名誉顧問の 2 名、CCOP 事務局からの 2 名でした。

委員会では、主に以下の 4 点について報告と議論がされました。

- ・新メンバー (ブルネイ、マレーシア) の紹介
- ・加盟国からの協力金支払いの遅れ→2020 年より未払いの加盟国あり、督促状を送付
- ・収支バランスについては、引き続き、大きな変化を出さないよう努力する
- ・監査報告 (2023 年 1 月～6 月) を国際標準様式で実施中

### 1.2 第 59 回年次総会

出席者は参加者数 94 名で、内訳は以下の通りです (写真 1)。

- ・加盟国：ブルネイ (2 名)、カンボジア (7 名)、中国 (17 名)、インドネシア (6 名)、日本 (12 名)、韓国 (7 名)、ラオス (4 名)、マレーシア (7 名)、ミャンマー (2 名)、フィリピン (2 名)、タイ (50 名)。加盟国のうち、モンゴル、パプアニューギニア、シンガポール、東ティモール、ベトナムは不参加。
- ・協力国：デンマーク (2 名)、フィンランド (1 名)、ポーランド (1 名)、英国 (5 名)
- ・協力機関：欧州地質調査所 (1 名)、Hanyang 大学 (韓国：5 名)、IUGS (日本：1 名)、UKM (マレーシア：1 名)
- ・名誉顧問：2 名
- ・オブザーバー：2 名
- ・CCOP 事務局：9 名

また、日本からの参加は以下の 13 名でした。

- GSJ (11 名)：中尾信典 (総合センター長)、今泉博之 (副総合センター長)、内田洋平・牧野雅彦 (連携推進室)、藤原 治、宝田晋治、松本親樹、片山泰樹、伊尾木圭衣、飯島真理子、Joel Bandibas
- JICA (1 名)：細井義孝
- IUGS (1 名)：北里 洋

以下、会議の主な概要を紹介します。

#### (1) 開会式

- ・開会挨拶：パンガ州副知事 Niracha Banditchat 氏、CCOP タイ代表・DMR 局長 Oranuj Lorphensri 氏、タイ天然資源環境省顧問 Sontirat Sontijirawong 氏、CCOP 諮問委員会委員長 Ioannis Abatzis 氏 (デンマーク CCOP 代表、デンマーク地質調査所)、CCOP 管理理事会議長 Li Jinfa 氏 (CCOP 中国代表・中国地質調査所長、ビデオ配信)、タイ天然資源環境省事務次官 Thalearnsak Petchsuwan 氏

#### (2) CCOP 事務局活動報告

- ・Young Joo Lee 事務局長が、CCOP の 2022 年下半年および 2023 年上半年の活動報告、財務報告を行った。
- ・各 CCOP プロジェクトの活動についての概要報告

1) 産総研 地質調査総合センター連携推進室

キーワード：CCOP、年次総会、管理理事会、タイ・カオラック



写真 1 CCOP 年次総会グループ写真 (CCOP 事務局提供)

### (3) 加盟国の活動報告

- ・ブルネイ、カンボジア、中国、インドネシア、日本、韓国、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイが報告。地下水、気候変動、金属資源、地質災害（地すべり、陥没）などに関する事項が多い。
- ・日本の報告は内田国際連携グループ長が行った。GSJ の組織体制・ミッション、GSJ が実施している CCOP プロジェクト、GSJ の 2022 年後半～2023 年前半の地質図発行や地質災害に伴う発信、プレス発表を行った研究成果などを紹介。

### (4) 協力国、協力機関の活動報告

- ・協力国は、デンマーク、フィンランド、ポーランド、英国が報告。
- ・協力機関は、欧州地質調査所、Hanyang 大学（韓国）、IUGS（日本）、UKM（マレーシア）が報告。

### (5) 2024 年活動計画案、その他活動報告

- ・事務局より新規プロジェクトならびに 2024 年活動計画案の概要紹介があった。

### (6) 2024 年 年次総会について

- ・第 60 回年次総会・第 83 回管理理事会を 2024 年 11 月 3 日～9 日、マレーシア ランカウイ島で開催予定。

### 1. 3 Thematic Session

セマティックセッションは、3つのテーマがセットされていました。

Session 1 : Climate Change and Disaster Risk Reduction

Session 2 : Sustainable Energy and Critical Resource Management

Session 3 : Digital Transformation and Innovation

全発表件数は 43 件で、そのうち日本 (GSJ) からのセッション発表は以下の 8 件でした(第 1 表)。今回のセッションでは、タイの鉱物資源局や地下水資源局に所属する若手研究者が多く参加・発表していたように感じました。また、いずれのセッションも、活発な質疑応答が行われていました。

### 2. 第 81 回管理理事会

第 59 回年次総会に引き続き、2023 年 11 月 3 日に第 81 回 CCOP 管理理事会が同会場で開催されました。GSJ から、中尾総合センター長、今泉副総合センター長、内田・牧野(国際連携グループ)の 4 名が参加しました。

出席者は、加盟国より 31 名(ブルネイ 2 名、カンボジア 5 名、中国 1 名、インドネシア 3 名、日本 5 名、韓国 2 名、ラオス 3 名、マレーシア 3 名、ミャンマー 1 名、フィリピン 1 名、タイ 5 名)、諮問委員会 (Advisory Group) 2

第1表 GSJからのセマティックセッション発表リスト

Title	Author (s)	Session
Fault model construction of a great earthquake by tsunami simulation that occurred in Hyuga-nada, Japan	Kei Ioki, Yusuke Yamashita, Yoshihiro Kase	1
GSJ's Commitment to Building a Disaster-Resilient Nation	Osamu Fujiwara and Members of High-Precision Digital Geological Information Improvement Project for Disaster Prevention	1
Mine drainage treatment using manganese-oxidizing bacteria	Taiki Katayama, Sereyroith Tum, Tetsuo Yasutaka, Miho Watanabe, Naoyuki Miyata	2
CCOP-GSJ Groundwater Project (Keynote)	Youhei Uchida and Gaurav Shrestha	2
Analysis of Urban Water Quality in Limestone Areas based on Environmental DNA and Isotopes: The case of Okinawan Islands	Shinji Matsumoto, Mariko Ijima, Naoyuki Yoshihara, Akira Iguchi	2
Digital Transformation Activities in Geological Survey of Japan, AIST: Development of Volcanic Hazards Information System	Mariko Ijima, Ko Yasumoto, Jun Yasumoto, Akira Iguchi	2
Digital Transformation Activities in Geological Survey of Japan, AIST: Development of Volcanic Hazards Information System	Shinji Takarada, Joel Bandibas, Yuhki Kohno, Fumihiko Ikegami, Yasuaki Kaneda, Shuho Maitani, Misato Osada	3
Tephra Fall Volume and Mass Estimation Using WebGIS and Open Geospatial Consortium (OGC) – based Web Services	Joel Bandibas, Shinji Takarada	3

名, CCOP 事務局 9 名の計 42 名でした。

以下, 会議の概要を紹介します。

#### (1) 開会式

Suvapak Imsamut 氏(タイ鉱物資源局副局長, タイ CCOP 副代表)の歓迎挨拶, 中尾信典氏(管理理事会副議長, 第 81 回管理理事会議長, 地質調査総合センター長, 日本 CCOP 代表)による開会挨拶。

#### (2) CCOP 2023 年 (1 月～ 6 月) の活動報告

Young Joo Lee 氏(CCOP 事務局長)より, 2023 年上半期の活動報告として, 財政状況の概要, 第 80 回管理理事会(韓国 済州島開催), その他, 各プロジェクトの活動状況が報告されました。

#### (3) CCOP 戦略計画の修正

Sonyang Wu 氏(CCOP プロジェクト専門員)より, CCOP 新規プロジェクトとして CCOP-RCUG-YLL Sustainability of Resource-based Region International Program(国際資源循環型地域の持続可能性に関するプログラム)が紹介されました。また, 2024 年活動計画における Hanyang University

Scholarship Program(漢陽大学校, 韓国), CCOP-KIGAM Critical Mineral Project(重要鉱物の管理と持続可能性に関する研究), Southeast Asia CCS Accelerator (SEACA) プロジェクトなどが紹介されました。現在, 研究プロジェクト 11 件およびトレーニングプログラム 6 件を実施中です。

#### (4) 財政委員会報告

Dato' Yunus Abdul Razak 氏(CCOP 諮問委員会副議長)より, 2023 年 10 月 29 日に開催された財政委員会による, CCOP の財政に関する提案が発表されました。

#### (5) 2024 年度 CCOP 予算案および 2023 年度予算の状況報告

Young Joo Lee 氏(CCOP 事務局長)より 2024 年 CCOP 予算について, 以下の案が発表され, 参加国一致で承認されました。

歳入: USD 575,550

予算: USD 575,550

また, 2023 年度予算の収入・支出状況が報告されました。その他, CCOP 加盟費について, CCOP 事務局より各加盟国の財政年度期間に適合させて, Invoice に関する Official Letter を発行する方向となりました。





写真 2 管理理事会議長 (2024 年～2025 年) に選出された中尾氏 (CCOP 事務局提供)

### (6) 諮問委員会からの提言

Ioannis Abatzis 氏 (CCOP 諮問委員会議長) より、2023 年 10 月 29 日に開催された CCOP 諮問委員会からの CCOP 活動・運営に関する提言が報告されました。特に、プロジェクトの実施・運用については、加盟国からの要望をできるだけみ取ること、プロジェクト予算については、現状ではリーダー国からの支出で実施しているが限界があるため、CCOP として国際的な競争的資金を取りに行くことも考える必要がある、とのコメントが寄せられました。また、Ioannis Abatzis 氏と Dato' Yunus Abdul Razak 氏の二人については、引き続き、諮問委員会の議長・副議長をそれぞれ継続することとなりました。

### (7) 次回以降の年次総会・管理理事会の開催予定

- ① 第 82 回 管理理事会
  - ・カンボジア 2024 年 3 月 4 日～7 日
  - ・開催地：シェムリアプ
- ② 第 60 回年次総会・第 83 回管理理事会
  - ・マレーシア ランカウイ島, 2024 年 11 月 3 日～8 日
- ③ 第 84 回管理理事会 (2025 年 3 月または 4 月) の開催国: ベトナムが立候補
- ④ 第 61 回年次総会・第 85 回管理理事会 (2025 年 10 月または 11 月) の開催国: ラオス・ビエンチャン

### (8) その他

- ① CCOP 事務局より管理理事会の議長および副議長 (2024 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日) の選出について、議長に中尾信典氏 (日本代表)、副議長に Datuk Zamri Bin Ramli 氏 (マレーシア代表) の提案があり、参加国

一致で承認されました (写真 2)。

- ② CCOP 事務局より、次の事務局長 (任期: 2025 年 4 月 1 日～2028 年 3 月 31 日) の選挙について、スケジュールが示されました。
- ③ 日本より、JICA の CCOP 協力機関への登録が提案され、参加国一致で承認されました。
- ④ GSJ より "GSJ International Training Course on Practical Geological Survey Techniques, January 22-24, 2024 Online" が紹介されました。本トレーニングコースのテーマは "Application to Geological Disaster Mitigation" です。

### 3. おわりに

今回の CCOP 年次総会は、2019 年次総会 (タイ・チェンマイ) から実に 4 年ぶりの完全対面会議となりました。コロナ禍 3 年間の国内外の会議は、インターネットを用いた WEB 会議が主体となっていましたが、議論の活発度合いやコミュニケーションの取りやすさなど、あらためて対面会議の良さを実感しました。GSJ の若手研究者も年次総会に出席し、国際会議の運営・進行を知る良い機会になったと思います。また、Thematic Session では積極的に発表をおこない、海外の研究者との親交も深まったのではないのでしょうか。

---

UCHIDA Youhei (2024) Report on Participation in CCOP 59th Annual Meeting and 81st Steering Committee Meeting.

---

(受付: 2023 年 12 月 27 日)